

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
理科	化学基礎	2	2年次・文系			藤井 隆徳	
使用教科書	化学基礎 改訂版(啓林館)		使用副教材	リードLight化学基礎 四訂版(数研出版)			
科目の目標			道徳教育のねらい				
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			自然の事物・現象を探究する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることで、生命を尊重し、自然科学の保全に寄与する態度の育成につなげる。見通しをもって観察、実験を行うことで、科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。				
市函D P (本校で身に付けさせたい6つの資質・能力)							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働力	計画実行力
1	第一部 第1章 物質の構成	○	○	○			○
2	第2章 物質の構成粒子	○	○				○
3	第3章 化学結合	○		○		○	
4	第二部 第1章 物質質量と化学反応式	○	○	○			○
5	第2章 酸と塩基	○	○	○			○
6	第3章 酸化還元反応	○	○	○	○	○	○
7	定期考査	○	○	○	○		○
8	小テスト 単元テスト	○	○	○	○		○
9	課題提出	○	○	○	○	○	○
10	実験実習	○	○	○	○	○	○
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現		観察・実験の技能		知識・理解	
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料
	関心・意欲・態度	○	◎			○	
	思考・判断・表現	◎		○	○		○
	観察・実験の技能	◎	◎	○	○		◎
知識・理解	○	○	◎	◎	○	○	

化学基礎 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 (4)	第一部 物質の構成 第1章 物質の構成 (9)	生活の中に化学についての再発見をし、化学の役割について理解を深める。物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲を持つ。 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	1 純物質と混合物 2 2 物質とその成分 3 3 粒子と熱運動と物質の三態 2		
	5月 (7)		実験・探求活動1 章のまとめ 2			
	6月 (8)		第2章 物質の構成粒子 (7)	1 原子の構造と電子配置 3 2 イオン 2 3 元素の周期表 2		
	7月 (6)	第3章 化学結合 (16)	1 イオン結合 3 2 共有結合 6 3 金属結合 2 4 物質の分類と融点 1 実験・探求活動2 章のまとめ 4			
	8月 (3)	第二部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式 (10)	原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。	1 原子量・分子量・式量 2 2 物質量 (mol) 2 3 化学反応式と化学変化の量的関係 3		
9月 (11)	実験・探求活動3 章のまとめ 3					
後 期	10月 (6)	第2章 酸と塩基 (11)	水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係および、pHについて理解する。 酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。	1 酸と塩基 2 2 水の電離とpH 2 3 酸・塩基の中和と塩 4		
	11月 (5)		実験・探求活動4 章のまとめ 3			
	12月 (5)	第3章 酸化還元反応 (10)	酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。 酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。	1 酸化と還元 3 2 酸化剤と還元剤 3 3 金属の酸化還元反応 2 4 酸化還元反応と人間生活 2		
	1月 (3)		実験・探求活動5 章のまとめ 3			
2月 (6)	※ 考査 (4)			※定期考査 年4回 4		
3月 (5)						